

日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 藤谷 恵三 発行所 日本高齢期運動連絡会
〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5 シャンボール中野504号
Tel/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com
http://www.nihonkouren.jp

発行：毎月1日
2016年6月1日
No.310



篠崎次男氏の講演「高齢者は黙ってられない」=第4回山形県高齢者大会(記事P4)

第30回日本高齢者大会in東京 24講座・22分科会などを企画

5・9「5月度高齢期運動推進事務局団体会議」開く

日本高齢期運動連絡会

日本高齢期運動連絡会は5月度高齢期運動推進団体会議を5月9日午後、東京都中野区の事務所で開催し、8団体と事務局合わせ16人が出席しました。

1.報告事項

「東京大会へはバス1台で参加。県の高齢者大会を10/13に開催。憲法集会、メーデーへの取り組み」(愛知県)、「3月に総会が終了。熊本支援、大牟田を起点に慢性期の支援をしていたが、連休明けから県連に本部を移して長引く避難への支援を行っていく。戦争法廃止の取り組み」(民医連)、「4/26に東京実行委員会第4回総会を開き参加人数・財政などの目標への到達状況の確認。目標達成のため

に地域組織確立が重要。企画の担当団体振り分け」(東京)、「熊本支援、4/末～5/初に地域生協との連携でコープ店舗前で健康チェックを実施。戦争法廃止の署名の取り組み」(医療福祉生協連)、「神奈川用に独自に東京大会案内を作成し配布。年金者組合・民医連・医療生協など各団体それぞれで参加目標を割り振り取り組んでいる。11月に開く県の大会の第1回実行委員会を5/19に開催」(神奈川)、「県の総会を6月に開く。大会は3月に開いたが今年度は県北部で11月に開催予定。東京大会への取り組み」(茨城)「東京大会参加目標100人。担当する分科会に集中せず他の分科会などへの参加を積極的に要請している。

熊本支援、1日までに255万円のカンパが集まった」(建交券)、「東京大会参加目標200人。熊本支援のカンパ集め。県の大会4/25浜松で開いた。総会は6/15。19~31日平和行進。東京大会は200人目標」(静岡県)

2.協議・議決事項 1)第25期日本高齢期運動連絡会決定の具体化について、藤谷事務局長から説明があり次の通り決めた。決定集を各県に送付する。第25期アクションプランの作成については6月に決定する。2)第30回日本高齢者大会in東京の企画について東京実行委員会の提案を了承した。「しおり」の進捗については記事の収集に時間がかかり、6月中旬に発行する予定。

3.事務局報告事項

1)厚生労働省交渉について — 6月にずれ込む予定。要請事項の確認を5月中に。

2)広告・加入推進について—10団体程度を予定

3)「高齢期運動を応援します！」ポスターの作成について — 8人を予定 6月作成予定

4)第30回日本高齢者大会in東京第3回中央実行委員会総会について

①日程：6月25日(土)13時~16時30分②場所：大正大学③目的①基調報告の論議・確認

②企画内容の確認③参加組織の推進④要員・任務の確認 その他

4.その他(10分)

1)今後 会議日程について

①6月13日(月)午後13時30分から16時30分
中野事務所

②7月11日(月)午後13時30分から16時30分
中野事務所

いまこそ、人間らしく生きるために 「日本高齢者大会in東京」へ!!第1回幹事会報告 開く

神奈川県高齢期運動連絡会

神奈川県高齢期運動連絡会の第1回幹事会が4月6日に開かれ、8月に東京で開催される日本高齢者大会の参加留意点、秋に予定している「輝けかながわ高齢期のつどい」など、当面の方針を確認しました。

高齢者をめぐる情勢について、①神奈川の「年金引下げ違憲訴訟」は不当にも東京高裁に移送された②後期高齢者広域連合議会に県社協が「口頭陳述を求める陳情書」を提出したが、3月28日の議会で否決された③3月28日に開催した広域連合議会で後期高齢者の保険料値上げが可決された(関連記事は別掲参照)④横浜市で要介護支援の「総合事業」が1月から開始されたことなどを大河原事務局長が報告しました。

参加者から、各地の高齢者のおかれている実態と各自治体の対応や、高齢者問題での各団体の当面の取り組みに方針について発言があり情勢を深めました。

後期高齢者医療保険料が値上げに 均等割額43,429円へ 所得割率8.66%へ

3月28日に広域連合議会が開かれ、2016~17年度(後期高齢者医療制度の財政運営は2年毎)の保険料率が決まりました。

均等割43,429円(前期比849円増)、所得割率8.66%(前期比0.36ポイント増)で1人当たりの平均保険料額を1,421円引き上げ、91,585円としました。

厚生年金の平均的受給者(年201万円)の場合、保険料は年間55,520円(均等割34,743円、所得割20,784円)、月額4,626円となります。

国は後期高齢者医療制度は「公費5割、現役世代の支援金4割、保険料1割」と説明してきましたが、高齢者負の担率は年々引き上がり10.99%になっています。県広域連合事務局も「1%の差は保険料としては大きい」「保険料引き上げの要因だ」と言っており、私たちが当初から「この制度は保険料負担が上がり続ける」と指摘したとおりです。国庫負担を引き上げて保険料負担率を引き下げるべきであり、少なくとも公言していた負担率10%にまで直ちに下げるべきです。神奈川県広域連合の財政安定化基金の2015年度末残高(見込み額)は77.6億円となっており、これを取り崩し可能な限り保険料の引き下げに活用すべきです。

第1回幹事会では以下の点を議論し、それぞれ確認しました。

(1)「第30回日本高齢者大会in東京」(8月28日、29日)の成功に向け。

●神奈川県に参加目標は、2日間で延べ500人とする。

●年金者組合200人、民医連・医療生協200人、建設労連50人、その他50人。

●参加者名と1日目の講座・分科会参加登録は、7月31日を目標とする。

●参加費は1日、保険料と事務手数料を加えて3000円とする(中央は1日2500円)。

(2)第12回「輝けかながわ高齢期のつどいin」

について。

●藤沢市民会館小ホール(434席)を会場に、11月15日(火)、16日(水)、17日(木)のいずれかで開催する。

●湘南地域を中心に現地実行委員会を発足させる。

●第1回実行委員会を5月19日(木)午後2時～藤沢市の湘南民商で開催する。

(3)「20年のまとめ」編集委員会の発足について

幹事会から長谷川幹事、後藤幹事。元横浜社保協の金子敬二氏にも協力をお願いする。

(「輝け高齢期」第256号から)

「中央メーデーに参加しました」

日本高齢期運動連絡会

日本高齢期運動連絡会は、中央メーデー実行委員会団体として、2016年5月1日、都内の代々木公園において、約3万人の参加のもとで開催された全国労働組合総連合(略称：全労連、小田川義和議長)主催の「第87回中央メーデー」に参加しました。



今年の中央メーデーの特徴は、日比谷メーデー実行委員会からの挨拶があったことです。昨年までは、メッセージの交換でしたが、今年は、双方の実行委員会事務局長が登壇して挨拶を交換しました。



日比谷メーデーは、全国労働組合連絡協議会(全労協)が中心になった実行委員会です。5月1日、7,500人参加で開催されました。全労協ホームページによれば、全労協は、「連合・



全労連が1989年次結成され、どちらにも『行かない、行けない』組織として…1989年12月9日、総評解散後の『たたかう、まともな労働運動』の結集体をめざし、国労・都労連・全国一般など全国30万人の労働者によって結成された『連絡協議会』組織です。』)。また、全国各地の第87回メーデーは、全国311カ所で開催され、約16万人が参加しました。多くの会場に、野党統一候補が挨拶にこられたそうです。



労働組合運動でも「共同」が大きな方向になってきていることを実感できるメーデーとなりました。

戦争法廃止、社会を変え・憲法を暮らしの中に 第4回山形県高齢者大会400人参加で開く!!

山形県いきいき輝く高齢期運動実行委員会

山形県いきいき輝く高齢期運動実行委員会は、5月22日(日) 10:30~午後4:00、山形市ビッグウイング 2Fホールと4F集会場で、「第4回山形県高齢者大会」を開きました。

五月晴れの日曜日、県内各地よりマイクロバス、自家用車を仕立て、400人を超える参加者が山形市のビッグウイングに集い、山形県第4回高齢者大会を開催しました。

大会には、県細谷副知事、と7月に闘われる参議院選挙の野党統一候補・船山康江さんも来賓として出席され、「立憲主義を取り戻し平和な社会と豊かな地域づくりで高齢者の知恵を発揮され共に実現めざしががんばりましょう」と熱烈な連帯の挨拶を受けました。



5/22第四分科会「高齢者の集う場所づくり」

午前中4つの分科会が開かれた(10:30~12:00)ビッグウイング4会場。

第一分科会 介護保険はどうなる・改悪を許さない 76名参加ー

第二分科会 戦争法を廃止し、平和憲法を守る国民連合政府を 40名参加ー

第三分科会 若者も高齢者も希望のもてる年金制度とくらしを守る政治を 60名参加ー

第四分科会 高齢者が健やかに住み続けられる地域づくり・高齢者弱者の集う場所づくり 170人参加、第四分科会は150人の定席に資料が足りなくなる170人が出席し、庄内医療生協のたまり場づくり5年間の取り組

みが基調報告されました。県内全域からの高齢者のたまり場・認知症ネットカフェ、サロン、いきいき健康教室、社会福祉協議会も含めた町内会サロン、子ども見守り広報活動など多様に取り組みられ、工夫した活動が10人の参加者から発表され、協同組合の医療生協・生協・高齢協が連携し、地域で顔が見える町内会規模での取り組みの大切さ。社会福祉協議会とも一緒に小学校区単位の取り組み、介護施設・組合員施設を地域に開放した活動の取り組みなどが発表されました。参加者がそれぞれに学びあえる分科会となりました。

◇

5/22第四分科会 高齢者の集う場所づくり
山形市ビッグウイング

昼休みと全体会オープニング(12:05~13:00)

お昼の弁当は、余目農協(県生協連加盟)で作っていただいた地産地消の弁当400個を参加者の希望により注文しお茶付で500円完売いたしました。

味の評判は、「お米がおいしい・やっぱりつや姫ですね!」という事でした。

物産展は、静岡産の新茶、山形の銘菓、東日本震災チャリティー石巻海産物、9条焼きせんべい、宮城高齢協の清酒「笹の陽」(ささのはる・一ノ蔵酒造)、お酒を除いてほぼ完売しました。

当日熊本地震支援募金 20,918円の義援金が寄せられました。ーありがとうございました。

◇

オープニングーバイオリン演奏

池田敏美さん(12:40~13:10)

バイオリニストの池田敏美さんは、東京フィルハーモニー交響楽団の団員として34年に亘ってオーケストラ演奏に参加、退団後はフリー奏者として全国で活躍中。山形県最上町在住です。

大会会場がバイオリンのこころの琴線に触れる音色で参加者がひき込まれ、会場がシー

ンと緊張の糸が張り詰めて全大会に入りました。(すばらしい演奏でCDも素晴らしかったです。一機会があったらぜひお買い求めくださいーお勧めです。)



講演 田辺鶴瑛さん「ふまじめ介護 2」

午後 第二部 開会

大会実行委員会の武田道隆会長の挨拶があり、山形県の細谷副知事の来賓のあいさつに続いて、参議院選挙野党統一候補の船山康江予定候補が連帯の挨拶を行い、戦争法を廃止、立憲主義を守り、高齢者をはじめ暮らしをしっかりと守り、大企業の横暴を許さず国民の暮らしを壊すTPPをやめさせ、安倍政権を倒し憲法を守りましょうと決意を述べ大きな拍手に包まれました。

講演 篠崎次男先生

「高齢者は黙ってはられない」と題して50分の講演があり、高齢者はいまおかれている状況からすれば「もつと怒る必要がある」と強調し、高齢者人口3千万人に相応しい高齢期運動を組織する事・国民運動に発展させる取り組みを知恵を発揮して作り上げる必要があると強調しました。とりわけ東京の取り組みが大変大事になってきます。

そういう意味で今回の東京での記念すべき全国第30回大会の成功が大変重要になってきます。

全国には、学ぶべき取り組みが作り出されてきています。山口、和歌山、山形、三重など、地方都市の中に、繋がりを活かした・顔の見える支えあい活動が作り出されてきています。18年以降の医療・介護などの改悪計画に備えながら、組合員や地域住民の要求を国や地方自治体に突き付けていく運動も強めなければなりませんと語気を強めて結びました。参加者は考えなければという感想とわかりやすいお話でもっと怒らなければという感想が寄せられています。

講演 田辺鶴瑛さん「ふまじめ介護2」と題して講演を山形では2回目になる公演です。

田辺鶴瑛さんは、認知症対応について山形の介護施設で研修受け、母親と義父の介護ケアを行い、その体験を講演に取り入れて全国で公演をおこなっています。

グループホームの職員は「本当に参考になった、笑えない実態もいっぱいあるので、色々取り入れて実践して行きたい」と述べています。

第4回山形県高齢者大会は、分科会のまとめ報告と、大会宣言を採択し、山形高齢協管原理事長の閉会の挨拶で、今日の第4回山形県高齢者大会は、学ぶべき点がいっぱいありました。高齢者大会のスローガンである一人ぼっちの高齢者をなくし、社会保障政策の充実で介護悲劇を起こさない取り組み、高齢者・弱者が安心して住み続けられる地域社会をつくるため、いきいき輝く高齢期運動実行委員会を全県につくり、第30回全国高齢者東京大会に参加し、全国から学んで実践しようと呼びかけ、第4回山形県高齢者大会を閉会しました。

山形県いきいき輝く高齢期運動実行委員会
事務局 菅原文男

「桑名市『総合事業』と『生活応援会議』の一年をふりかえる学習会」 市内外から20超の事業所・団体が参加

「三重県社保協ニュース」から

全国に先駆けて昨年4月から「総合事業」を実施した桑名市で3月25日、桑員社保協主催で「桑名市の『総合事業』が始まって一年

『応援会議』をふりかえる」と題して、学習会が開かれました。

市内外から20を超える事業所と桑員労連・社保

協加盟団体.みえ医療福祉生協理事、他70人が参加しました。

講演は、桑名市地域介護課・高橋課長が、社保協からは三重短大准教授・武田先生、同短大講師・村瀬先生がそれぞれ報告し提案をしました。

桑名市では、昨年4月から11月までに、373人が「基本チェックリスト」の振り分けを受け、介護保険からの「卒業」を目標とする「生活応援会議」が繰り返されるなかで、65歳以上の高齢者は、認定者数・率の最高時（2014年7月、5,469人、16.25%）と比較すると、2015年12月時点で、高齢者数が1,331人増えているにもかかわらず、要介護・要支援認定者は実数で415人減少、認定率で

も14.44%と2%近く減少し、要支援の認定を受けられない方が、自費で利用している事例が生まれています。

学習会の報告を受けたアンケートには「生活応援会議の運営の改善と要支援認定者の減少の原因を分析してほしい」「基本チェックリストの活用で自費利用が広がり要介護認定の申請権は保障されているのか」「なんのための介護保険か」「総合事業移行者の生活事態の把握が必要」など、多くの意見が寄せられています。

桑員社保協では、5月に開かれる桑名市地域包括ケア推進協議会総会までに、意見をまとめ桑名市へ意見.要望.提案で懇談を申し入れる予定です。

閉鎖中のクリニックを地域包括ケアシステムの拠点に 三重県高齢期運動連絡会

高齢期の運動に関わるみなさんの協力で10年以上前に閉鎖していた旧大山田クリニックを地域の通いの場「か-デ-ン大山田」として再出発させることができました。医療福祉生協らしい地域包括ケアシステムの地域拠点のひとつになっていきたいと考えています。3年目を迎える看護小規模多機能施設とデイサービスを組み合わせた「陽だまり」も近接地で活動しています。

行政や地域包括さんからの支援、病院.開業医さんとの連携もすすんできています。職員を励まし、組合員も元気になる通いの場です。

桑名市では昨年4月が全国に先駆けて介護保険の「総合事業」への移行がされ、いくつかの問題も明らかになっています。地域をまるごと健康にする医療福祉生協の出番です。

施設の運営の中心は「桑員地区高齢期連」と「桑員地区社保協」のメンバーが中心です。

私たちがめざす理念は

- 1.地域まるごと健康づくりをすすめます
- 2.高齢者とこども、地域住民が暮らしやすいまちづくりをめざします
- 3.多様な要求に応える地域のセンターの役割担います

そのために、地域住民のみなさんとともに取り組

みます

【今後の予定】

★サロン（西部支部）

6月13日(水)2時～4時 ものわすれなどについて
できれば3回シリーズで...オレンジかふえ(認知症カフェとは呼びません)につなげたい

★ほたるルーム（教師OB）当面 毎水曜日学習支援をめざす。

◆学習に困っている人の子ども支援

※毎週水曜日 月4回4人の人確保。

5月11日(水)3時～5時30分テストケースで2名ぐらいやって何人やれるか決める

◆地域の子どもがたのしめるイベント 2カ月に1回 広くよびかける

◆将来は青少年の活動の場として

ひまわりルーム（運営委員会）

子育てサロン開始(保育士OB)

6月15日(水)10:30～12:30

6月 夜 太極拳 開始予定==6月,7月,9月,月一回
5月より 健康体操 交流、 毎週金曜日10:00～12:00

*キッチン こども食堂実施希望あり。

4月24日の開所式は44人の参加。多くの来賓、メッセージが寄せられました。

（「運営委員会報告」より）

各位

桑名地域での実験的取り組みです。

社保協でも高齢期連でも新婦人も年金者組合も、医療福祉生協でも生活に関わる問題は共通の課題です。担い手の確保と育成でも...

この活動拠点は医療福祉生協の院所の再利用です。遊休施設となっていた旧大山田クリニックを桑名市の介護保険の総合事業への移行を見通して、住民主体の地域の通いの場やB型通所介護事業所として登録します。ガーデン大山田では介護予防の対象となる高齢者だけでなく、元気な高齢者や子育て支援の分野でも大いに地域からたよりにされる拠点になることをめざして船出しました。

当面は週の内2日～3日午前中施設を開けられるよう当番制を引きました。桑名市の健康体操教室やサロンとして、(認知症)かひえとして、健康講座やくらしの学校、小中学生の学習支援、こども食堂も5月6月から実施的にスタートができそうです。桑名市の出前講座なども活用して地域の住民のみなさんが一般介護予防事業として参加できるようにします。その運営を民主的陣営が担い、活動を通じて政策提案までできるようにしようというのがネライです。

ガーデン大山田は高齢者や地域住民のくらしの困り事のワンストップ相談窓口になります。

この施設に隣接して2年前にオープンした看護小規模多機能型施設すきな(地域交流スペース併設の地域密着型施設)とテイク・イン福寿草の複合施設があります。この施設でも昨年(認知症)オレンジカフェの開催、地域サロンを定期的で開催しています。これらの施設をペレストロイカで活用することで医療福祉生協の地域まるごとケアをめざします。

現役退職組み(OB)が知識と経験を大いに役立て活躍できる居場所になりそうです。高齢期運動がめざす地域の協同です。問題は運営資金の確保です。現在桑名市さんや社会福祉協議会さん、自治会(地区社協)さんにも相談にのってもらっているところです。施設は医療福祉生協の持ち物ですので最低限の維持費の捻出と事業活動が活発になればそれ相当の運営費が必要となります。運営費を生み出す工夫、これからが正念場です。全国の先進から学び、桑名での実践に生かします。情報の提供をお願いします。

2016年4月25日

みえ医療福祉生協 副理事長 寺崎由郎
三重県高齢期連 事務局長 寺崎由郎

「舛添都知事は真実を説明せよ」 都議会に100条委員会の設置を



都議会前でアピールする東京実行委員会菅谷事務局長と中山事務局次長

東京都議会開催日の6月1日、都議会前で都民要求実現全都連絡会などが都庁前行動にとりくみました。第30回日本高齢者大会in東

京、東京実行委員会も参加しました。

行動では、舛添都知事の公用車私的利用や海外豪華出張、政治資金不正使用などに都民の怒りが沸騰するなか、都議会に「100条委員会」を設置し真実を究明せよとコールしました。また、保育、介護、豊洲移転問題など各界から報告があり都民要求実現を求めました。

保育労の代表は、「都民の血税が都知事の趣味のために使われていた、待機児童が8000人もいる中で、豪華海外出張の費用で保育園1園ができる、介護士の確保ができず空き部屋を抱える特養問題など都民の切実な要求に税金を使ってほしい」と訴えました。

(記 鐘ヶ江 正志)

もう一回り大きな取り組みで歴史的な第30回高齢者大会を成功させよう！

第2回地域実行委員会責任者会議開催される！

東京実行委員会ニュースから



東京実行委員会は 5月25日午後、東京保健生活協同組合会議室（文京区）に於いて、2回目の地域実行委員会の責任者会議が開催されました。13地域から28人と東京実行委員会から8人が参加、3ヶ月後に迫った第30回日本高齢者大会の成功をめざして、熱心な討論が行われました。

金子民夫実行委員長代理のあいさつに続いて、小嶋満彦副実行委員長の常任実行委員会からの提起の中で「大会成功と、近づく参議院選挙の勝利、戦争法廃止2000万署名運動の達成との関連」と「大会参加者の目標を引き上げる努力を」という要請がありました。

現在、全都のほとんどの自治体で地域実行委員会が結成され取り組みが始まっていますが、大会成功のためには、参加者の組織状況、財政確立の現状から見て新たな提起がされたのです。

三多摩では2日前の23日に、篠崎次男さんを招いての学習決起集会を開催し、19地域から83名の参加で盛り上がった様子なども報告され、如何に全体を鼓舞する取り組みが大切かが、みんなの胸に落ちました。

23区の参加者からは、これまで3回から4回の実行委員会を開いた、参加者の財政援助するために、①じいじばあばせんべいや②ワカメの販売で財政をつくっているなど、順次率直な現状が出され、実行委員会からの「目標引き上げ」についても、積極的に受け止められたようでした。また、区内での「つどい」の報告やこれからの計画、対区交渉の取り組みも報告されました。

どこでも、いよいよこれからが本格的に取り組むを始めるというところでしたが、いっそう多くの団体に呼び掛けていこうという決意が語られました。そのためにも、「高齢者大会の歴史を学ばなければならない」「高齢者大会を知ってもらうためのDVDを至急つくってほしい」「自治体などへの協力要請のための文章を」など、実行委員会への要望も出されました。参加費の調達が大きな課題ですが物品販売、カンパ活動、協賛広告集めなど創意的な取り組みが報告され心強い会議でした。

次回、第3回の会議は6月22日（水）午後2時から予定されています。

大会企画担当の吉岡氏から大会リーフの説明があり、「講座・分科会は前回より数を増やし、講師陣も東京ならではの講師陣にお願いした。『しおり』の文字は小さいが、志の大きい内容になっているので、大会の内容を知らせて参加者を誘ってほしい」と力説。

財政担当の中山氏からは財政確立の取り組みで「各地域で協賛広告24枠獲得を」と再度要請がありました。

東京実行委員会ホームページを立ち上げました

<http://30koureisyataikai.info/index.html>

東京実行委員会の活動が全てわかります。
物品販売の注文もダウンロード出来ます。
地域実行委員会での資料に活用下さい。